

校長室だより(No16)

R4.12.5

日増しに寒さが増す中にも、栽培委員会が植えたきれいな花たちが、出会う私たちを出迎え、子供たちのあいさつと同じように元気を与えてくれます。

いよいよ12月となりました。1年生はアサガオのつるでつくったリースの作成を、2年生は生活科で自分たちがつくったおもちゃでお店を開き、友達を招いて楽しむ活動を行いました。また、学級（年）園では、5組から9組のみなさんが大切に育てている作物や、3年生が総合的な学習の時間で育てている カリフラワーもすくすくと成長しています。4年生はまもなく延期になった遠足で、大谷焼や人形浄瑠璃の見学に行く予定です。5年生は「夢」の授業で、リモートによりテレビの画面に映った講師の方のお話に熱心に耳を傾けました。6年生は修学旅行は延期になったものの、次の機会を期待しながら、中学校へ向けての準備を一つ一つ進めているところです。

さて、5年生の「夢」の授業では、あるオリンピック選手の方からのお話で「夢」の実現のために、3つのことが大切であるとお話していただきました。

・ 「なりたい自分」のイメージを強くもつこと

・ 人生の中で迷ったとき、必ず「自分で決める」こと

・ 人生の中で最大のライバルは「自分自身」であること

「色がつくまで」なりたい自分の姿を頭の中に思い描くことは、無意識（潜在意識）に強く働きかけることができるのかも知れません。また、迷った時、「必ず自分で判断すること」は、人任せや人のせいにせず、自分で責任がとれる力をつけていくということであり、それを積み重ねていくことで、自分に「自信がつく」ことであると思われます。そして、「常にライバルを昨日までの自分」とすれば、周囲と自分を比較することで自信を失ったり、自己肯定感を下げたりする必要もなくなります。

もちろん、周囲からのアドバイスを受けるのもよいでしょう。時には周囲を見ながら、今の自分の状況を客観的にふりかえることは大切でしょう。しかし、それらはあくまで「参考にする」、「目安にする」ものであって、最終は自分で判断できる、自分の成長を楽しむことができる「大人」に近づいていくこと、そのための力をつけていくことが大切だと考えます。

朝会などで子供たち「あいさつ」の大切さについて話をする時があります。その中で「もう一度、川内北小の子に会いたいな・・・と思われるあいさつをしよう」と子供たちにお願ひしています。「あいさつはしてもされても気持ちがいいもの・・・」だけでなく、「また会いたいな」と思ってもらえる人が増えれば増えるほど、みんなの夢を応援してくれる人が増えるということでもあるんですよ・・・と伝えています。

これからも自分なりの「最高のあいさつ」を目指しながら、「自分の好きなこと」「自分の得意なこと」「自分も人も笑顔になれること」を見つけ取り組むことのできる子供たちの育成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

